



京丹後市の公共交通の取組について

1 京丹後市の公共交通利用促進事業

(1) 高齢者片道200円レール事業

府北部 2 市 2 町在住の 65 歳以上の方が、域内の各駅から京都丹後鉄道線内どの駅で降りても片道 200 円で普通・快速列車を利用可能。平成 29 年度から、往復（購入）での利用に加え、片道（購入）での利用を可能とした。概ね 19,000 人前後で推移しているが、令和 2 年度、3 年度については新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が大幅に減少している。



年間の利用者数の推移（単位：人）

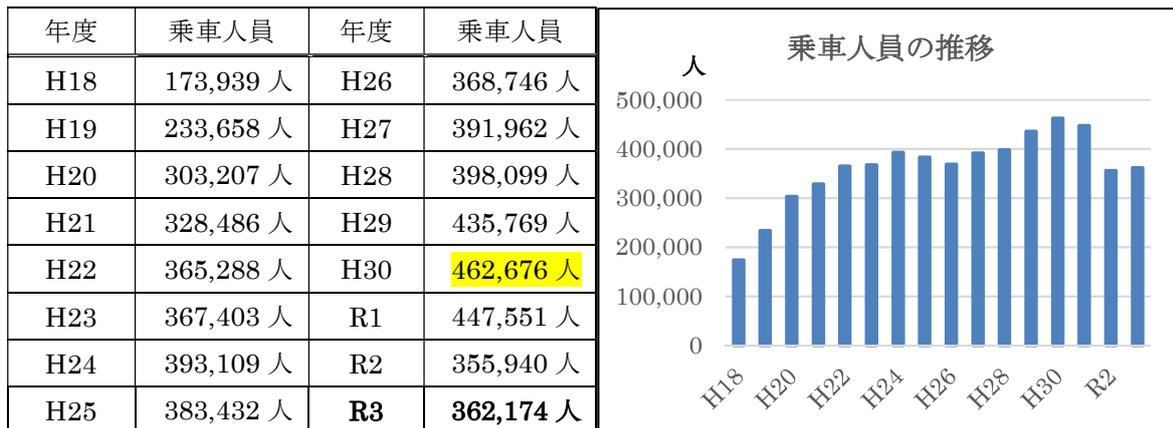
年度	京丹後市	宮津市	伊根町	与謝野町	合計
23 年度	2,784				2,784
24 年度	8,754				8,754
25 年度	18,457	16,841	297	3,665	39,260
26 年度	20,484	19,924	246	3,941	44,595
27 年度	19,633	20,580	274	3,962	44,449
28 年度	18,884	21,209	252	3,858	44,203
29 年度	19,401	20,118	285	4,122	43,926
30 年度	18,207	19,523	295	4,142	42,167
令和元年度	18,660	20,914	281	4,069	43,924
2 年度	10,286	13,709	161	2,073	26,229
3 年度	10,395	12,881	141	2,168	25,585

(2) 上限200円バス事業

府北部 2 市 2 町のエリア内であれば、誰でも上限 200 円でバスに乗車可能。平成 19 年度から実証実験開始、平成 23 年度から本運行開始。平成 29 年 10 月からは、宮津市、伊根町、与謝野町エリアでも本運行開始。平成 30 年度は 12 年間の取り組みで過去最高となる年間乗車人員 462,676 人を記録するものの、運転手不足の中で、路線網維持に向けた対応が課題となっている。また昨今の新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言や外出自粛等により、利用者数が大幅に減少している。



200 円バスを活用した温泉ツアー



(4) デマンドバス事業

丹後町内の路線区間において、週のうち3日間の指定された曜日に、事前予約に応じて必要な区間だけ運行。利用料金は最大200円。平成26年7月から運行開始。



年度	利用者数	年度	利用者数
H26	165 人	R1	420 人
H27	967 人	R2	406 人
H28	892 人	R3	355 人
H29	795 人		
H30	545 人		

(5) ささえ合い交通事業 (H28. 5. 26~)

地元 NPO 法人が運行事業者となり、ドアツードアの輸送を確保するため、道路運送法に基づく「公共交通空白地有償運送」では全国初となる、ICT (ウーバー・ジャパン提供のシステム) を活用して平成28年5月から運行開始。利用者の声に応え、現金とクレジットカードでの支払いに対応し、スマートフォンを持っていない方のために「代理サポーター」を設置。インバウンドも含め、誰でも使える丹後町の足として活躍。



(6) AIオンデマンドモビリティ（予約型乗合タクシー）の実証（R3.6.30～）

京丹後市が地元タクシー事業者である峰山自動車(株)に要請を行い、道路運送法 21 条許可を得て、CommunityMobility(株)が提供するシステムで実証中。エリア内、月額定額乗り放題の新感覚交通で、呼べばすぐ来る新しい移動手段として地域の移動総量を増やすことにより、既存の公共交通と共存し、地域の活性化に貢献する取組として期待されている。アプリと電話で呼ぶことが可能。学生や高齢者等のマイカーを持たれていない方や子供の送迎などに利用することが便利、バスとタクシーの中間のような乗り物。



2 高齢者等運転免許証自主返納支援事業

高齢者の交通事故の抑制と、免許返納後の足の確保を図るため、高齢ドライバーの運転免許証の自主返納を支援。運転免許証を自主返納した 65 歳以上の方及び障害者の方に対して、京都丹後鉄道、丹海バス、市営バスの半年分の定期券等を進呈。

平成 28 年度から、丹海バスの回数券も選択肢に加え、さらに令和 2 年度からはタクシーチケット (3 社) とささえ合い交通で利用できるチケットも選択肢に加えた。



返納者数の推移（単位：人）

年度	返納者数
24 年度	18
25 年度	84
26 年度	88
27 年度	78
28 年度	143
29 年度	138
30 年度	137
R1 年度	180
2 年度	117
3 年度	176

3 その他の事業

(1) 駅舎整備

どなたでも鉄道が使いやすいよう、駅のトイレの洋式化等を推進。

平成 27 年度は峰山駅、網野駅及び夕日ヶ浦木津温泉駅の 3 駅のトイレを新築し、平成 28 年度は久美浜駅のトイレを改修した。



峰山駅の新築トイレ棟



洋式化した久美浜駅トイレ



コインロッカーを整備

(2) 駅舎内喫茶室のプレイヤーを新たに募集

駅利用者の利便性向上を図り、駅の賑わい創りを進めるため、平成 30 年度より新たなプレイヤーを募集し、駅中カフェとしてリニューアル。

(京丹後大宮駅、久美浜駅の 2 駅)



京丹後大宮駅内カフェ



久美浜駅内カフェ